

令和 2 年度

運営協議会報告書



令和 3 年 3 月

独立行政法人国立高等専門学校機構

鶴岡工業高等専門学校

はじめに



高等教育機関が果たすべき役割は教育と研究と社会貢献です。本校ではこれらを有機的に融合させ、地域や企業が抱える課題等の解決を、教育や研究等を介して社会のために役立てることが重要と考えております。そして、それらの活動を評価していただく最も重要な外部評価組織こそがこの運営協議会です。従いましてこの5年の在任期間中にお諮りする内容を整理し、またメンバーの見直しもさせていただきました。

本年度は高専の強みである「探索型の教育」を一層充実させるべく、教員の能力向上に傾注いたしました。そこで、学生たちに「自ら考える力」を身につけさせるため、ワークショップを積極的に講義に取り入れています。その進行には「ファシリテーションスキル」が極めて大切であることから、コロナ禍で比較的まとまった時間が取れた昨年8月、希望した教員10名がプロからそのスキルを伝授してもらう3日間の研修プログラムを実施しました。これにより教員の教育力は大きく進化し、幾人かは既に講義に取り入れて成果を上げています。今後はこのスキルを一層磨くとともに、全教職員に拡げていく予定です。また、対象を学生から地域企業の技術者にも拡げていくことを考えており、昨年度は尾花沢市の企業の技術者を、本校の学生と一緒にグループに組み入れたワークショップを実施いたしました。来年度はさらに数社と連携して講義の中に組み込んでいこうと考えています。各社には本校を活用した社員教育や、製品開発のヒントを得る機会としてご活用いただければと思います。

さらに、地域企業と連携した製品開発も行い、前述の尾花沢市の企業とは「管楽器奏者用フェースシールド」を開発、昨年末に市販までこぎ着けました。担当したのは以前から国内でも著名なオーケストラのメンバーとの交流があった基盤教育グループの国語教員で、奏者のニーズを受け本校教員の協力を得て同社の社員が形にしたものです。

また、かねてより、地元経営者の方々には「高専卒業生の初任給を大卒と同じにしてほしい」とお願いをして参りまして、現在11社にご賛同いただいております。そして、去る2月17日にこの中から6社を本校にお招きして「県内企業研究セミナー」を開催しました。すべて経営者自身にご講演をお願いし、自社の魅力を学生に語っていただきました。そして、「高専生の強み」をテーマにパネルディスカッションを行いました。多くの学生から出された質問に丁寧にお答えいただき、学生は貴重な時間を過ごすことができました。高専生が自信を深めるいい機会になったものと思っております。

本協議会におきましては、委員の皆さまから活発で建設的なご意見をいただくことができ、大変嬉しく思っております。また、皆さまの期待に応えられるよう毎年新たな活動を通して成長し続けていく所存ですので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

鶴岡工業高等専門学校
校長 高橋 幸司

目次

はじめに

I 令和2年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会

1 運営協議会日程	4
2 令和2年度 運営協議会委員名簿	5
3 本校関係出席者	6
4 会場スナップ	7
5 議事	8
6 自己点検・評価表	70

II 令和2年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会資料

I 令和2年度鶴岡工業高等専門学校運営協議会

1 運営協議会日程

日 時： 令和 2 年 1 2 月 8 日（火） 13 時 30 分から 16 時 30 分まで
場 所： 鶴岡工業高等専門学校 大会議室
次 第：

開 会	（進行：総務課長）
校長挨拶	校 長
運営協議会委員紹介	校 長
本校出席者紹介	総務課長
日程及び配付資料の説明	総務課長
委員長（議長）選出	総務課長
委員長挨拶	委 員 長

進行順序	説明事項等	説明者
趣旨説明		総務課長
説 明 ①	学校の概要について	校 長
説 明 ②	教育の内部質保証システム（基準 1） 教員組織及び教員・教育支援者等（基準 2）	教務主事
	学習環境及び学生支援等（基準 3）	学生主事
	【 質疑応答 】	

（ 休 憩 ）

説 明 ③	財務基盤及び管理運営（基準 4）	事務部長
	準学士課程の教育課程・教育方法（基準 5） 準学士課程の学生の受入れ（基準 6） 準学士課程の学習・教育の成果（基準 7）	教務主事
	専攻科課程の教育活動の状況（基準 8）	専攻科長
	研究活動の状況（選択的評価事項 A） 地域貢献活動の状況（選択的評価事項 B）	地域連携センター長
	【 質疑応答 】	

委員からの総括	各 委 員
委員長まとめ	委 員 長
校長お礼	校 長
閉 会	総務課長
事務連絡	総務課長

2 令和2年度 運営協議会委員名簿

(敬称略)

区分	No	職 名	ふりがな氏 名	備考
1号委員	1	株式会社エル・サン 代表取締役会長	はやさか つよし 早坂 剛	
	2	山形県庄内総合支庁長	ながさわ こういち 永澤 浩一	
	3	田川地区中学校長会 会長 (鶴岡市立鶴岡第三中学校長)	にしわき よう 西脇 庸	
2号委員	4	長岡技術科学大学長	あずま のぶひこ 東 信彦	
	5	慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長	とみた まさる 富田 勝	欠席
3号委員	6	鶴岡高専技術振興会 会長 (鶴岡市長)	みなかわ おさむ 皆川 治	
	7	鶴岡高専峰友会 副会長	さいとう みつる 齋藤 満	

3 本校関係出席者

No	職 名	ふり 氏 がな 名
1	校 長	たかはし こうじ 高橋 幸司
2	副校長（総務・教務担当）／教務主事／ 創造工学科長／国際交流支援室長	かんだ かずや 神田 和也
3	副校長（学生担当）／学生主事	おの でらりょうじ 小野寺良二
4	副校長（寮務担当）／寮務主事	やまだ みつあき 山田 充昭
5	副校長（専攻科担当）／専攻科長	わたなべ せいじ 渡部 誠二
6	副校長（研究・地域連携担当）／地域連携センター長	かみじょう としお 上條 利夫
7	基盤教育グループ長	たなべえいいちろう 田邊英一郎
8	電気・電子コース長	おおにし ひろまさ 大西 宏昌
9	化学・生物コース長	さとう つかぎ 佐藤 司
10	総合メディアセンター長	さとう じゅん 佐藤 淳
11	教育研究技術支援センター長	せがわ とおる 瀬川 透
12	教育改革 FD 委員会 委員長	もりなが たかし 森永 隆志
13	教育点検委員会 委員長	としま しげろう 戸嶋 茂郎
14	事務部長	たなか もとひさ 田中 基久
15	総務課長	かたぎり しげのり 片桐 茂則
16	学生課長	かねこ まこと 金子 誠
17	総務課課長補佐（総務担当）	しょうじ ゆきひろ 庄司由紀彦
18	総務課企画・連携係長	なりた あつし 成田 敦史
19	総務課企画・連携係員	はなおか ゆう 花岡 由

4 会場スナップ



会議室全景（後方から）



会議室全景（前方から）



列席者席



校長・副校長及び事務部長